

長い時間の隔たりがある地層  
枝の不整合



指定区分	県指定天然記念物
読みかた	えだのふせいごう
所在地	高梁市成羽町成羽
指定年月日	昭和30年7月19日
解説	成羽川支流の島木川の左岸に沿って、下層に三畳紀の砂岩層があり、これを白亜紀硯石層の礫石が不整合に覆い被さっているもの。その境界面は35mも露出している不規則になっている。頁岩には多数の層が傾斜して何重にも重なり、境界面もまた著しく傾斜している。これらのことから当初は水平面であったものが、地殻の大変動によって傾斜したことがわかる。このように不整合が明瞭に露出しているケースは日本でも少なく、特に中生代の不整合は例が稀である。
アクセス方法	JR備中高梁駅から約11km / 高梁市成羽地域局から約2.2km
公開状況	自由
設備	
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかさいめい (文化財名)	枝の不整合
よみかた	えだのふせいごう
しよざいち (所在地)	高梁市成羽町成羽
していたひ (指定した日)	昭和30年7月19日
せつめい	およそ2億(おく)年前の地層(ちそう)の上に、およそ1億年前の地層がつみ重(かさ)なっています。その間は1億年も空いています。このようにとても長い時間の間隔(かんかく)がある地層(ちそう)のつみ重なりを「不整合(ふせいごう)」といいます。さらに、もともとは水平(すいへい)だった地層が地殻変動(ちかくへんどう)によって傾(かたむ)いています。このように不整合がはっきりと見られる場所(ばしょ)は日本でも少ないとされています。